

# 令和5年度 学校評価について

宮城県加美農業高等学校 学校評価委員会

## 1 学校評価の実施

### (1) 調査対象

対 象		実 施 期 間	人 数	備 考
1	教 員	令和5年11月13日～24日	48名	教育職員のみ
2	教 職 員	令和5年11月13日～24日	63名	非常勤を除く職員
3	生 徒	令和5年11月 2日～24日	134名	
4	保 護 者	令和5年11月 2日～24日	134名	
5	外部学校関係者	令和5年11月 2日～24日	19名	在り方検討協議会・近隣区長等

### (2) 回収状況

対 象		令和5年度	令和4年度
1	教 員	106.3% (51/48)	85.4% (R3:100%)
2	教 職 員	77.8% (49/63)	100% (R3:83.6%)
3	生 徒	88.1% (118/134)	76.3% (R3:99.5%)
4	保 護 者	70.1% (94/134)	73.8% (R3:84.3%)
5	外部学校関係者	57.9% (11/19)	75.0% (R3:100%)

### (3) 調査方法

Webアンケート (Google フォーム) 及び質問紙法

## 2 調査結果

- (1) 自己点検・自己評価 (教員・教職員) : 別添資料A (教員), B (教職員) による
- (2) 学校関係者評価 (生徒) : 別添資料C (生徒) による
- (3) 学校関係者評価 (保護者) : 別添資料D (保護者) による
- (4) 学校関係者評価 (外部学校関係者) : 別添資料E (外部学校関係者) による

## 3 まとめ

昨年度から調査方法をWebアンケート方式 (一部外部関係者については質問紙により実施) に変更し、同方式による学校評価の実施は今回で2回目となる。調査対象及び回収状況は上記のとおりである。

教員及び教職員の結果は、45項目中42項目で肯定的評価が80%を超えているが、「部活動が活発に行われている」は、48.9% (昨年度: 61.5%) となり、昨年度から大きく低下する結果となった。また、「生徒会活動が活発に行われている」は、73.9% (昨年度: 85.2%) と低下しており、部活動や生徒会活動については、少ない生徒数で活性化を図る方策の検討が必要である。

生徒の結果は、県教育委員会が指定する14項目中12項目で肯定的評価が85%を超えているが、多くの項目で昨年度から肯定的評価の割合が低下する結果となった。学校独自の項目である、「専門的知識・技能の習得に向けて、地域と連携し教育の充実を図っている」は、肯定的評価が98.2%と最も高く、生徒が様々な地域連携学習等に意欲的に取り組み、充実感を得ていることが伺える。一方で、「私は、寮あるいは家庭で、ほぼ毎日予習や復習の時間を持つようにしている」は、73.9% (1年生: 64.4%、2年生: 72.9%、3年生: 95.5%) と最も低い結果となったことから、生徒の学習状況を把握し対応策等を検討していく必要がある。今後は、個々の生徒に応じた、よりきめ細やかな指導の徹底と、生徒の満足度を高める取り組みの工夫・改善を図っていききたい。

保護者の結果は、22項目中21項目で肯定的評価が80%を超え、「有意義な学校行事がある」は100%となっており、本校の様々な教育活動は高い評価を得ている。しかし、「いじめ問題に対する学校の取り組み方針が保護者と共有されている」は、76.1% (昨年度: 78.2%) と昨年度に引き続き、最も低い結果となったことから、いじめ問題対応の徹底を図るとともに、保護者との情報共有を深めていく必要がある。

外部学校関係者の結果は、22項目中20項目で肯定的評価が100%となったが、「災害・非常時の避難方法について生徒や保護者に伝えている」は昨年度から低下した。学校安全については、危機管理マニュアルの見直しや改善等を進めていくとともに、地域や関係機関とも認識を共有していききたい。

自由記述では、本校の教育活動について概ね理解を頂いている一方で、老朽化した施設設備に対する改善や学校PRを含めた情報発信に関する要望があることから、これまでの取り組みを継続するとともに、本校の魅力を発信していく方策の検討など、地域と一体となった特色ある学校づくりを進めていききたいと考える。